

花火大会の洋上観覧について

花火大会の洋上観覧時において 全国的に事故が多発しています！

花火大会は、夜間、狭い海域に多くの観覧船が集まることから、常に危険と隣り合わせです！

三河海上保安署管内においても、洋上観覧における事故が発生しています！

【事件事例 平成29年発生】

花火大会の洋上観覧のため、会場付近にて漂泊中に見張りを怠り定置網に乗揚げた。

注意を怠ると・・・



次のことに十分注意し、安全運航に努めてください。

気象及び海域情報の収集

気象・海象及び浅瀬、漁具、防波堤、航泊禁止区域等の把握
海上保安庁が提供する「海の安全情報」HP等で情報を収集！
事前に航行し、ルート、障害物の確認を行うことが望ましい！

発航前点検の励行

バッテリー上がり、燃料切れに要注意。

適切な操船・飲酒操縦の禁止

厳重な見張り及安全な速力を守り、飲酒操縦は絶対にしない。
夜間は特に視認性が低下し操船が困難になります。

その他

花火観覧終了後、観覧船舶が一斉に航走すると、輻輳し大変危険です。
大会主催者が配備する警戒船等の指示に従い、安全に運航してください。



<参考> 花火大会を観覧する多数の船舶



海の安全情報

検索

三河海上保安署